

長野県塩尻志学館高等学校 令和元年度第1回学校評議員連絡会 記録

日 時 令和元年7月22日(月) 午後3時00分から午後5時00分

場 所 塩尻志学館高等学校桔梗会館(同窓会館)

出席者 学校評議員 塩尻市商工会議所副会頭・塩尻市産業振興事業部長・塩尻市教育委員・
同窓会長・PTA副会長・広陵中学校長・松本大学教職センター長

学校職員 校長・教頭・事務長・総合学科主任・教務主任・進路指導主事・生徒指導主事
生徒会主任

- 1 開会
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 学校より説明
- 5 学校評議員会からの質問・意見・要望等(●は回答)

(評議員)

- ・シオジリ学は、探究的な学びを実践する素晴らしいものである。様々な分野で地域と連携しながら学習している。「シオジリ学」はモデル学習である。他の地域の生徒さんが志学館で学んだ地域との関わり方をきっかけにして、将来住む地域や仕事として地域と連携したり、地域で実践する際に、活かすことができる素晴らしいものである。
- ・昨年度の学校評価でBがついた中に「学習習慣の確立」がある。その中にポートフォリオは実施に課題が残るとあった。今年度はClassiで行っているが、状況はどうか。
- 昨年度紙ベースと無料のものを併用していたが、サービス上の不都合が生じたので、本年度の1年生より有料で機能が良いものに変えた。2年生は紙ベースでもやっている。

(評議員)

- ・2年後の高校の入試制度の改革について、中学でも総合的な活動を実施しているが、深い学習を展開しなければならない。そのために中学で学習しておいた方が良いことは何か。
- 3つの方針の中で明確にしていきたい。折々に伝えていきたい。
- 今回の入試改革は中学校での学習活動を多面的に評価するものであり、知識・技能に加えて、考える力、自分をデザインして行く力等、これからの時代に求められている能力・資質が義務教育段階でどう身につけているかを評価していくことになると思う。

(評議員)

- ・今まで以上に中高の連携が大切である。

(評議員)

- ・学校によってはタブレットを持たせている学校があるが、この学校の状況はどうか。
- 特に検討はしていない。

(評議員)

- ・塩尻の商工会議所の登録事業所は1800社を切っている。昨年度の進路結果では就職する学生が若干増加しているように見える。進学した生徒について地元に戻って就職している等の追跡調査は実施しているのか。
- 追跡調査は実施していない。情報が途絶えてしまっている。

(評議員)

- ・長野県は製造業の就職がし易い環境にあるが、早期に離職した者がその後どうなっているか知りたい。19市の中で、塩尻市は人口はほぼ横ばい。人口増は軽井沢町のみ。2018年の調査では13万人、主に29歳以下が首都圏に転住している。特に女性が多い。国もそれを阻止するために策をしている。そういう意味でも追跡調査に興味がある。

(評議員)

- ・シオジリ学で作成した事業所紹介冊子は地元の協力のもとできたものである。生徒が地元の企業を知ること、ふるさと思考力を養える。また、これは地域との関わり方にも活用できる。

(評議員)

- ・スクールカウンセラーの利用状況はどうか。
- 一昨年 50 数時間、昨年 65 時間である。今年度 6 月までに昨年度を上まわっている。年々増えているのは、早い段階からカウンセリングを進めているので利用が増えている。カウンセリングによる改善がなされている。少しでも心配があれば相談を受けるように促している。早期対応ができ、予防としても効果はある。生徒だけでなく、保護者も利用可能である。

(評議員)

- ・どの学校でもスクールカウンセラー (SC) が配置されているのか。
- 学校により配置時間が異なる。90 時間以上配分され SC が定期的に常駐の学校もある。

(評議員)

- ・小学校の段階から軽度の障がいが増加傾向にある。個に応じた指導が、子供だけでなく、保護者にも益々増えるのではないかと感じている。
- ・スマホに関しては、中学校では昼間集めている。すでに中 3 になると半数の生徒が持っていて、8～9 割はスマホを使用している。高校入学では 100 パーセントと思われる。中学でも指導しているが、トラブルも中学でも生じている。

(評議員)

- ・スクールカウンセラー (SC) とスクールソーシャルワーカー (SSW) との違いは何か。
- SC は学校で相談することが基本である。本年度より教諭が同伴すれば、家庭訪問も可能になった。本校ではメインとサブの 2 名を配置してもらっている。学校によっては週に 1 回くらい来て、生徒が相談できる形になっている所もある。
- SSW は家庭訪問できる SC のようなもの。外部との連携が主である。学校に来られない生徒に対して、家庭訪問して相談をすることも可能である。家庭に関する問題も対処できる。教育事務所に 5・6 人常駐している。

6 校長挨拶 (まとめ)

7 閉会